

INTER COOLER **Standard Edition** **SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

IMPREZZA
GC8

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：SUBARU IMPREZZA
- 型 式：GC8
- エンジン：EJ20
- 年 式：1996年09月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Standard Edition
- 製品番号：23111

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。





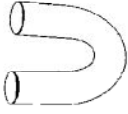







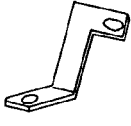
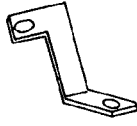











重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 純正のフォグランプは年式/形状により装着付加となります。予めご了承ください。
- 本製品の装着にはSUS POWER AIR CLEANERが必要です。
- 本製品の装着にあたりバッテリーサイズの変更及びターミナル端子の変更が必要になります。
バッテリーサイズ：40B19L ターミナル端子：D端子→B端子
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インタークーラーASSY	インテークパイプNo.1	インテークパイプNo.2	インテークパイプNo.3
 1	 1	 1	 1
インテークパイプNo.4	インテークパイプNo.5	インテークパイプNo.6	インテークパイプNo.7
 1	 1	 1	 1
異型ホースφ60-φ70	シリコンホースφ50	シリコンホースφ60	シリコンホースφ70
 1	 1	 3	 4
ブラケットRH	ブラケットLH	アルミカラー	φ28ゴムキャップ
 1	 1	 1	 1
ゴムキャップφ6	クランプφ6用	クランプφ50用	クランプφ60用
 1	 1	 2	 7
クランプφ70用	プラグφ34	ボルトM8×12	ボルトM8×20
 9	 1	 2	 1
ボルトM6×15			
 2			

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い！

・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

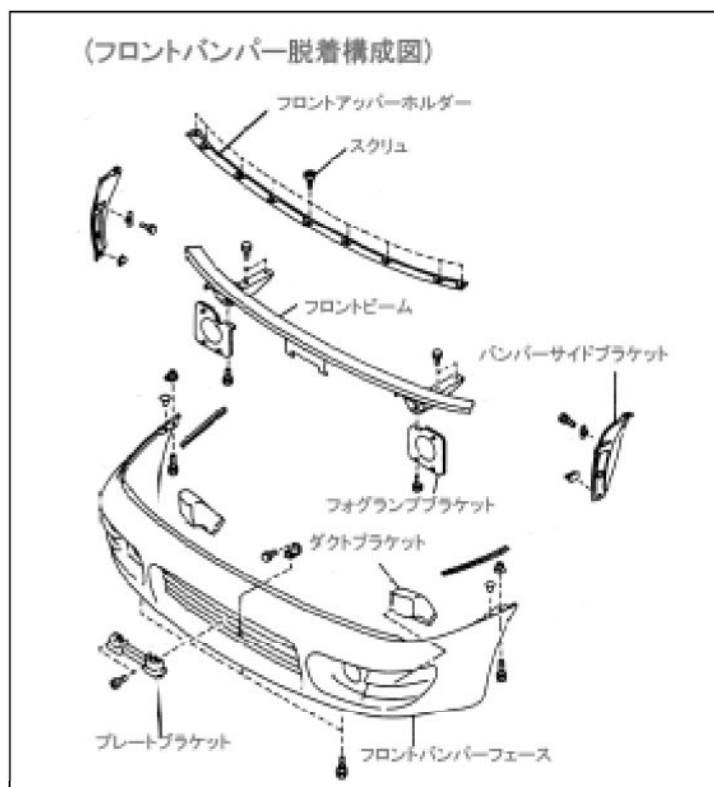
- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

警告 作業中の怪我・火傷

・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

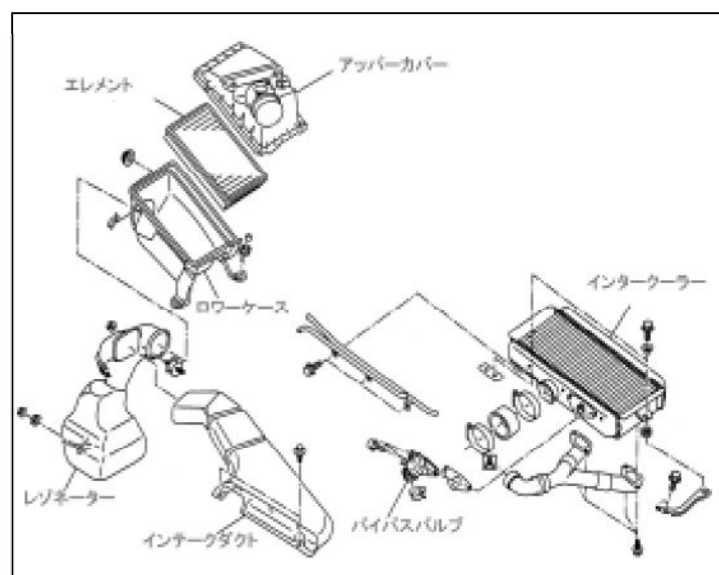
★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■ノーマルパーツの取り外し■



1. バッテリーを車両より取り外します。
2. 車両をリフトアップし、グリルを取り外します。
3. クリアランスランプを外し、ヘッドランプASSYを外します。
4. フロントアッパーホルダーのクリップ及びサイドブラケットのクリップを外します。
5. バンパー中央下部の取り付けボルト及び下面固定ボルト(左右)を外します。
6. フロントターンランプのコネクターを外し、バンパーフェースを取り外す。

注意 ボルト、クリップ類は再使用します。紛失しないように注意してください。



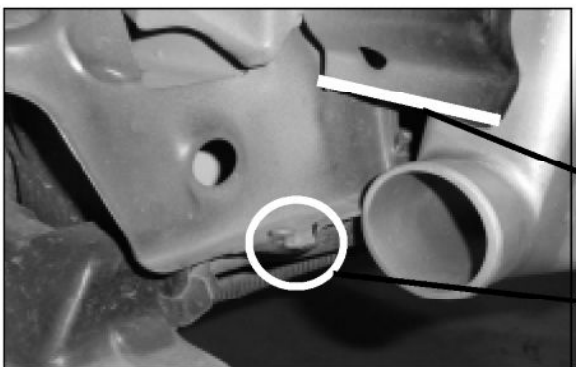
7. 純正クリーナーケース、レゾネーターを取り外します。
8. インタークーラーを取り外します。

注意 バイパスバルブは取り外しとなります。

■キットパーツ取り付け■



1. 図のようにバンパービームを加工して下さい。



左図は右側部の拡大ですが左側も同様に加工して下さい。

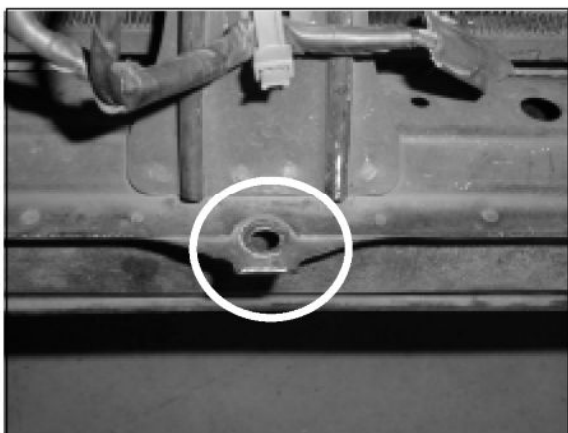
※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。

※加工後は塗装を施し錆びの防止に努めて下さい。

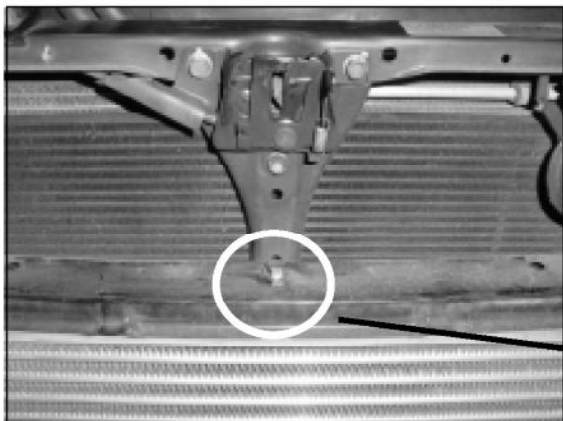
→ カットする！！

→ パイプに干渉しないように先端を折り曲げる。
プラハン等で軽くたたいてください。

加工部拡大 右側



2. フードロックステー下部（コアサポート）加工
年式によって、図のようにフードロックステー下部にアンダーカバー取り付け用固定穴がある車両があります。
インタークーラー本体と干渉するので折り曲げ加工して下さい。



3. 付属のカラー、ブラケットを使用して、インタークーラーASSYを取り付けて下さい。
(付属のボルト、ナットを使用して下さい)。

※バンパービームと本体取り付けボスの間にカラーを入れてください。

ボルトはM8×20を使用して下さい。

→ ボルト及び付属カラーで固定



サイドブラケットRH取り付け
 付属ボルトM8×12、M6×15を使用して固定して下さい。
 図は右側ですが左側も同様に固定して下さい。

※インタークーラーが水平になるよう調整し、ボディの各部に干渉しないか確認して固定して下さい。



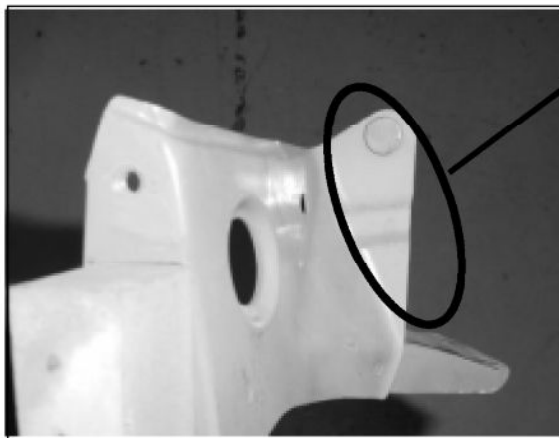
4. フェンダーサポート加工

図中丸部をφ70のインテークパイプが通るよう拡大加工して下さい。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。

※加工後は塗装を施し錆びの防止に努めて下さい。

※図中矢印部のナットを外し、フェンダー内のハーネスを固定するブラケットを下図のように加工して再度採り付けて下さい。



※ハーネスブラケットの加工

この部分を切り取って取り付けてください。

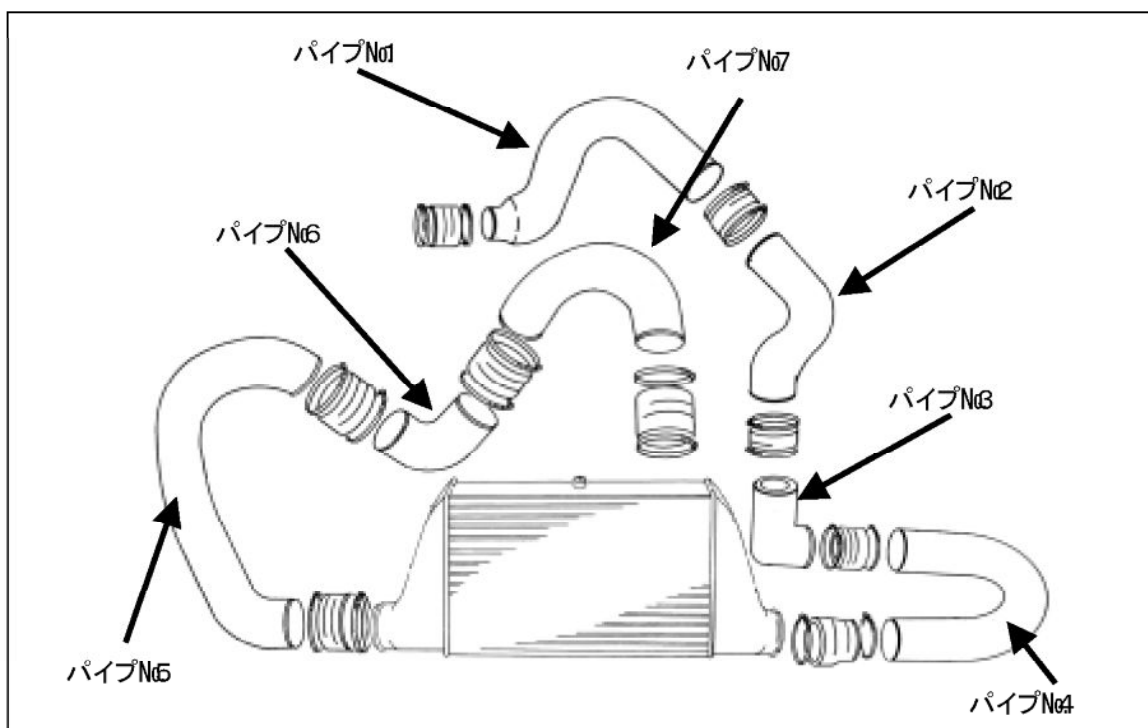


5. オルタネータハーネスの移動

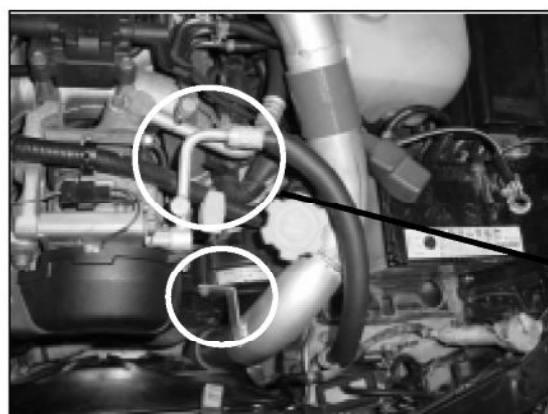
図中矢印部のオルタネータハーネスをE/Gオイル注入口の下側を通すようにして下さい。

エンジンオイル注入口！

6. 付属のパイプ No.1~No.7、各サイズのクランプおよびシリコンホースを使用して、図のように配管して下さい。
 ※パイプには No.と方向（ターボチャージャー→スロットル）が記されたステッカーが貼ってあります。
 ※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調整して下さい。
 ※パイプNo.2はエンジン側にブラケットを固定し電動ファンとのクリアランスによっては、プラハンやバイス等で干渉する部分を多少潰して使用して下さい。
 ※ホコリや異物が入らないように気を付けて下さい。



- ※スロットル下のヒーターホースのクランプがパイプ No.1 に干渉する場合はクランプの向きを変えて下さい。
- ※純正ブローオフは採り付けできません。
- ～97/12 までの車両はプラグφ34を使用して純正配管を塞いでください。
- ～00/09 までの車両はφ28ゴムキャップを使用して純正配管を塞いでください。
- インマニ側はφ6ゴムキャップで栓をし、エア漏れのないようにして下さい。
- ※フューエルパイプを下側へ曲げ加工しパイプとの干渉を防ぎボンネットとのクリアランスを確保して下さい。
- フューエルパイプを曲げて干渉を防ぐ。



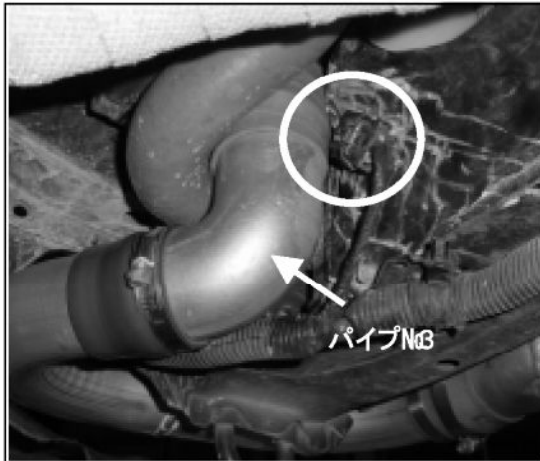
- ※エアコンパイプをボンネット方向へ多少曲げ加工しパイプNo.2とのクリアランスを稼いでください。
- ※クランクケースカバーに純正のボルトを使用して共締めして下さい。
- パイプNo.1、パイプNo.3との位置を調整して最後に固定して下さい。

→エアコンパイプ



※図中丸部のクリアランスに十分注意してください。
必ずファンを手で回してみても干渉する場合やクリアランスが非常に狭い（5mm以下）場合は、ファンのガイドを削る、もしくはアルミパイプをプラスチックハンマーやバイスで多少潰して干渉する部分に逃げを作ってください。

この部分のクリアランスに注意してください。



※パイプNo.3は長い方がパイプNo.2で、短い方がパイプNo.4とジョイントします。
※図中丸部のコネクターがパイプと干渉する場合はファンのガイドから取り外し、適当な場所へタイラップ等で固定して下さい。



※ハーネス類、ボディーとの干渉に注意してください。



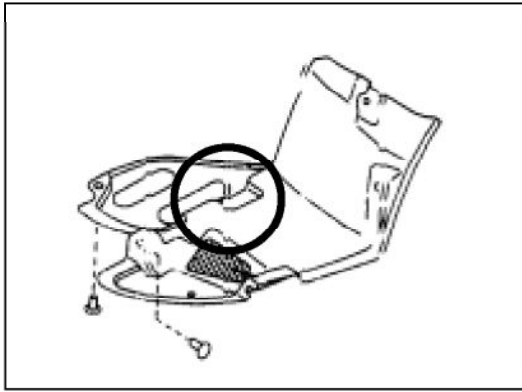
※フェンダーとのクリアランスに注意。



※ブリッツ SUSパワーエアクリーナーへの交換が必要です。（純正クリーナー装着不可！）

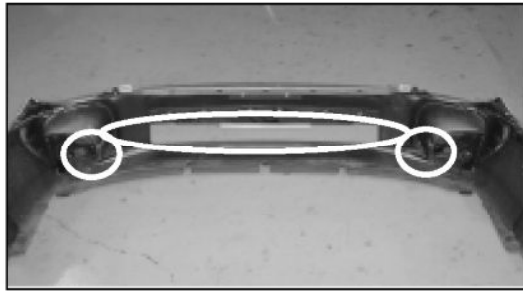


※各種ハーネスやブレーキマスターシリンダーの配管への干渉に注意して下さい。



7. フロントマッドガードを、インテークパイプNo.4が通るように図の丸部をカット加工して下さい。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。



8. フロントバンパーフェイスがインタークーラーASSYやインテークパイプに干渉しないように、フロントバンパーフェイスの干渉する部分をカット加工して下さい。図中丸部が干渉する部位です。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。

※純正のフォグランプは年式により装着不可となります。ランプ裏のブラケットを加工するか、もしくは純正フォグランプカバーの装着をお勧めします。(要加工)

9. 純正のクリップ、スクリューおよびナットを使用して、フロントバンパーフェイス及びヘッドランプ、グリルを取り付けて下さい。

※ランプ等のコネクタは確実に接続して下さい。

10. バッテリー及びターミナルをキット指定サイズに変更し、マイナス端子を取り付けて下さい。

バッテリー：40B19L ターミナル：B端子

■エンジンの始動にあたって■

- ・ 必ず換気のよい場所で行って下さい。
- ・ コーナリングランプが点灯するか確認して下さい。
- ・ 各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認して下さい。
- ・ インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか、確認して下さい。
- ・ 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でKITの取り付けは終了です。

- テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行って下さい。

BLATZ